

2019年3月期

決算説明会

株式会社 **システムリサーチ** [®]

2019年5月

Catch the Needs

目次

・会社概要

・2019年3月期 通期業績

・2020年3月期 業績見通し

・基本方針と働き方改革の取り組み

・中期経営計画

・ご参考資料

目次

・会社概要

・2019年3月期 通期業績

・2020年3月期 業績見通し

・基本方針と働き方改革の取り組み

・中期経営計画

・ご参考資料

会社概要

設立	1981年3月(昭和56年3月)
上場証券取引所	東証一部(2016年12月) JASDAQ(2005年6月) → 東証二部(2016年3月)
代表者	代表取締役会長 山田敏行 代表取締役社長 布目秀樹
資本金	5億5,015万円
連結従業員数	943名(2019年3月31日現在)、平均年齢33.8歳
連結子会社	1社(株式会社ソエル)
主な株主	山田敏行(18.72%)、従業員持株会(7.72%)(2019年3月31日現在)

子会社事業の展開

☆ 特例子会社 (株)ソエルの事業

- ①商号：(株)ソエル
- ②所在地：岐阜県大垣市今宿六丁目52番地18
- ③代表者：代表取締役 斎藤 慶祐
- ④設立日：2012年12月25日
- ⑤資本金：2,000万円
- ⑥出資比率：当社75% (株)ウェルテクノス25%
- ⑦目的
 - ・障がい者に対する自立支援と生きる喜びの場を提供
 - ・企業の社会的貢献の一環
 - ・障がい者雇用義務の達成
 - ・ニアショアとしての育成



(株)ソエルのHP
<http://sowel.co.jp/>

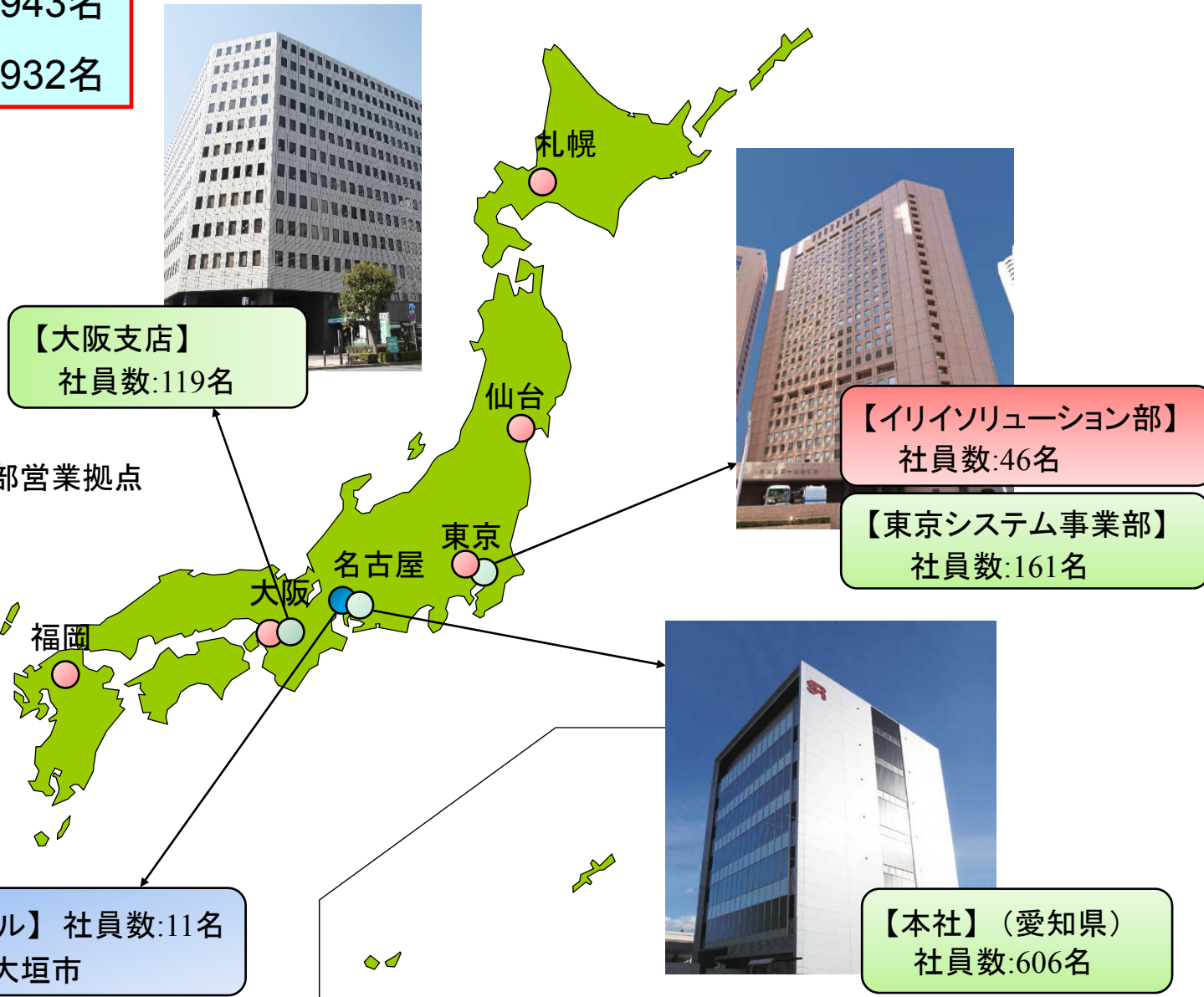
事業所・営業拠点

2019年3月31日現在

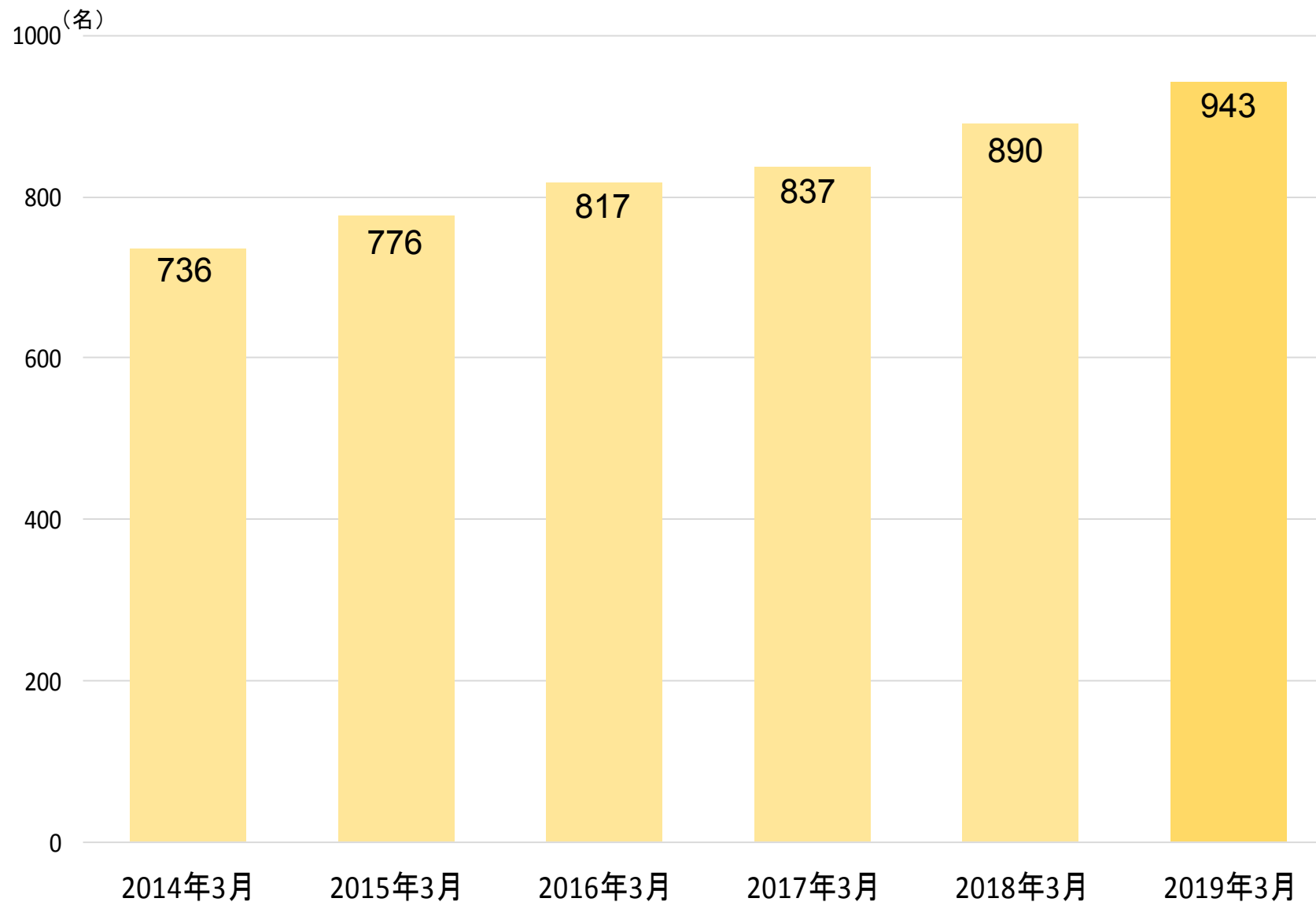
連結従業員数:943名

単体従業員数:932名

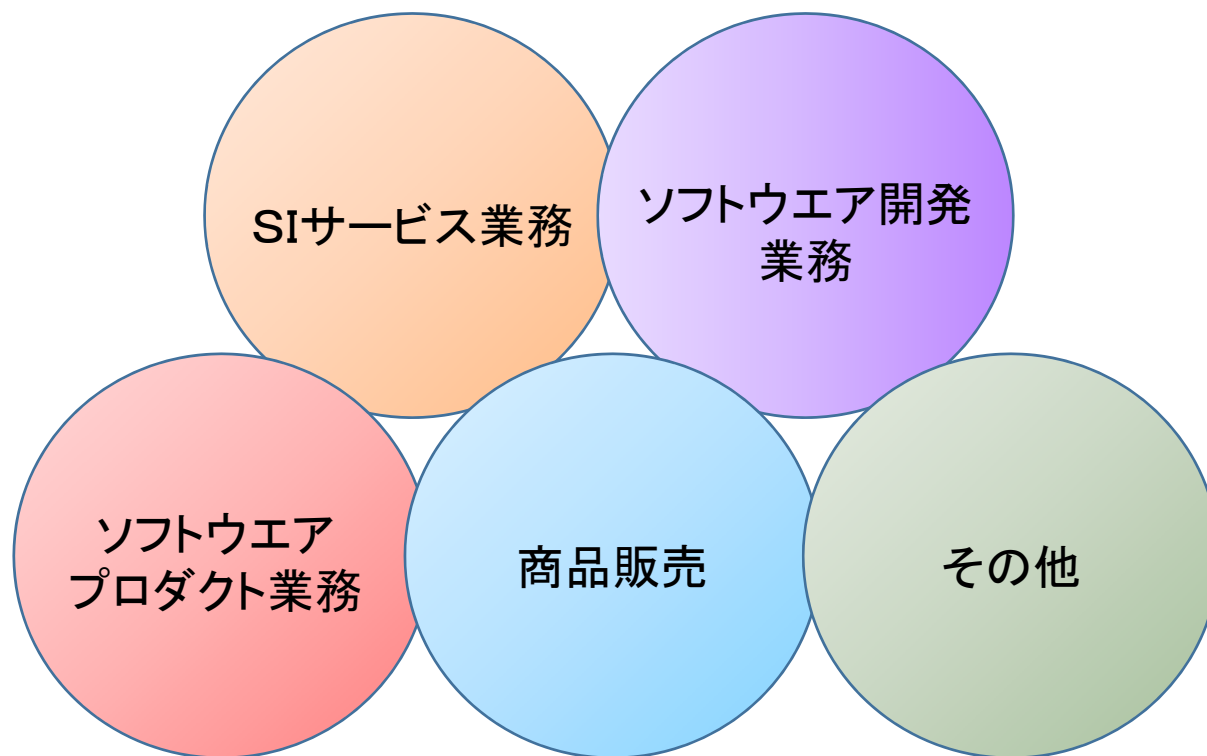
- 当社主要拠点
- イリイソリューション部営業拠点
- 株式会社ソエル



連結従業員数の推移



事業内容



- 当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、業務区分別で業績をお伝えしております。

◆SIサービス業務

請負契約にて、顧客の情報化ニーズに応え、情報システムを提案・開発・構築

◆ソフトウェア開発業務

大手企業を中心に、準委任契約や派遣契約による常駐型等による企業の基幹業務のシステム開発やメンテナンス業務

◆ソフトウェアプロダクト業務

不特定ユーザー向けのプログラム作成、販売および保守
CTIとCRMを中心に展開

◆商品販売

PCやネットワーク機器など情報機器、ソフトウェア等の商品仕入販売

◆その他

WEBサイトの運営ならびにクラウドサービス(SaaS)等

主な取引先

直接取引先(エンドユーザ)

◆自動車関連

トヨタシステムズ(トヨタ自動車)
豊通シスコム・豊田通商システムズ・豊田通商
エスケイエム(豊田自動織機 子会社)
豊田ハイシステム(豊田自動織機 情報子会社)
その他トヨタグループ各社

◆機械製造関連

工作機械メーカー

◆鉄鋼特殊鋼関連

鉄鋼会社系列情報子会社
特殊鋼会社系列情報子会社 など

◆その他

大手運輸業、公共エネルギー関連会社、印刷会社
食品メーカー、食品卸会社、大手小売業
楽器メーカー、電気機器メーカー、住宅設備メーカー
陶業窯業メーカー、金融・保険、海運会社
カーナビ・ITS(高度道路交通システム)関連会社
商事会社、中古車流通業、繊維メーカー
その他官公庁

間接取引先(2次請け)

◆メーカー系

日立製作所
日立ソリューションズ
富士通
東芝デジタルソリューションズ
総合電機メーカー
IT系メーカー
重電系メーカー
外資系コンピュータメーカー

◆SI系

SCSK
保険会社系列SI会社
独立系SI会社
銀行系SI会社
商社系SI会社
キャリア系SI会社
等

当社の強み(コアビジネス)

◆中部地区で、独立系として39年の実績

◆多様なシステム開発

製造業関連 : 生産、制御、組込み システム

流通業関連 : 物流、自動倉庫、電子商取引 システム

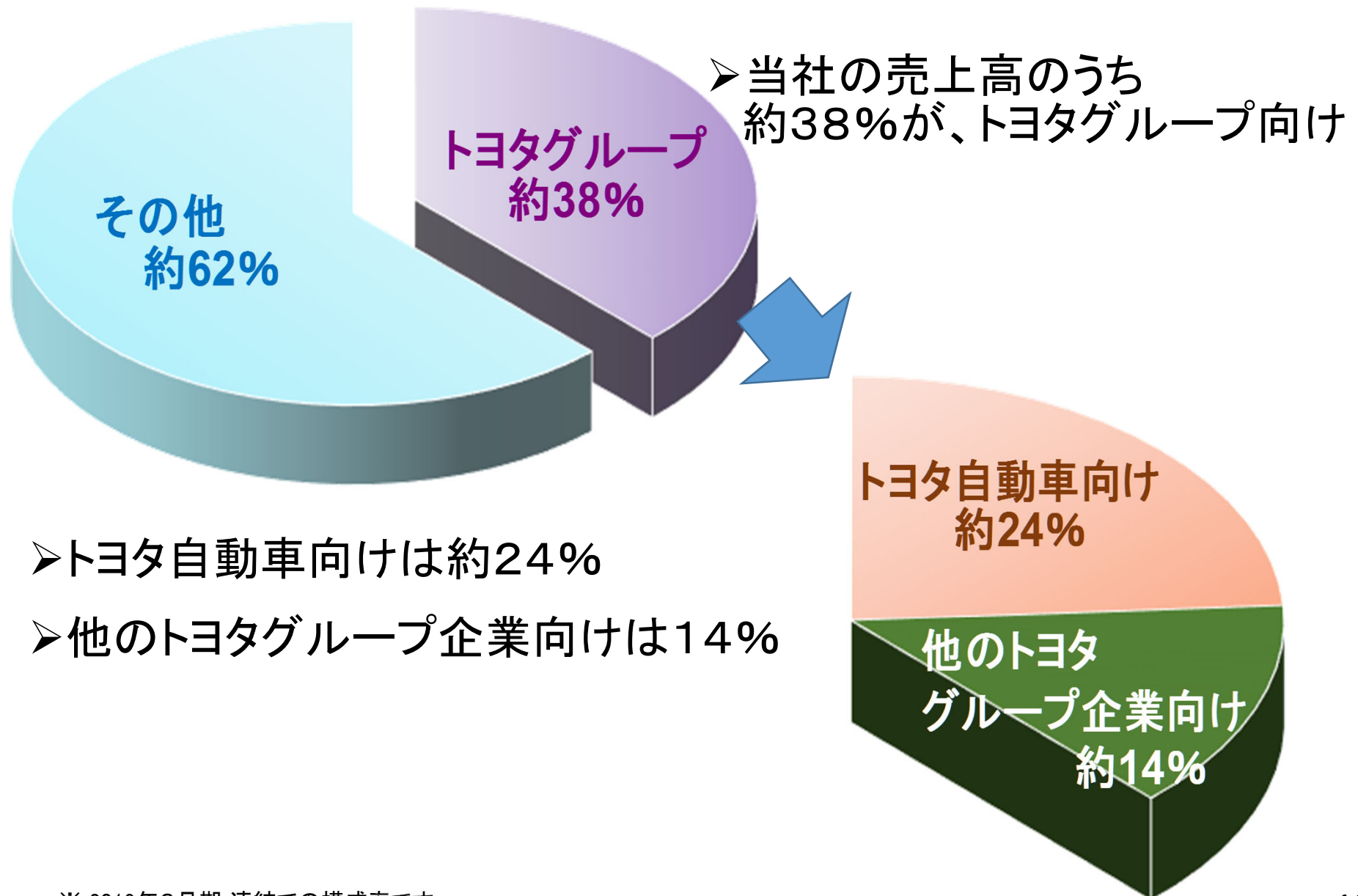
金融業務関連: 銀行、証券、カード管理 システム

業務管理関連: 販売、財務、人事・給与、原価管理システム

◆「システム開発」と「メンテナンス」共に注力することにより、安定したリピートオーダーを獲得

◆中堅企業向けソリューションビジネス、パッケージビジネスを展開

当社グループの売上高構成



※ 2019年3月期 連結での構成率です。

目次

・会社概要

・2019年3月期 通期業績

・2020年3月期 業績見通し

・基本方針と働き方改革の取り組み

・中期経営計画

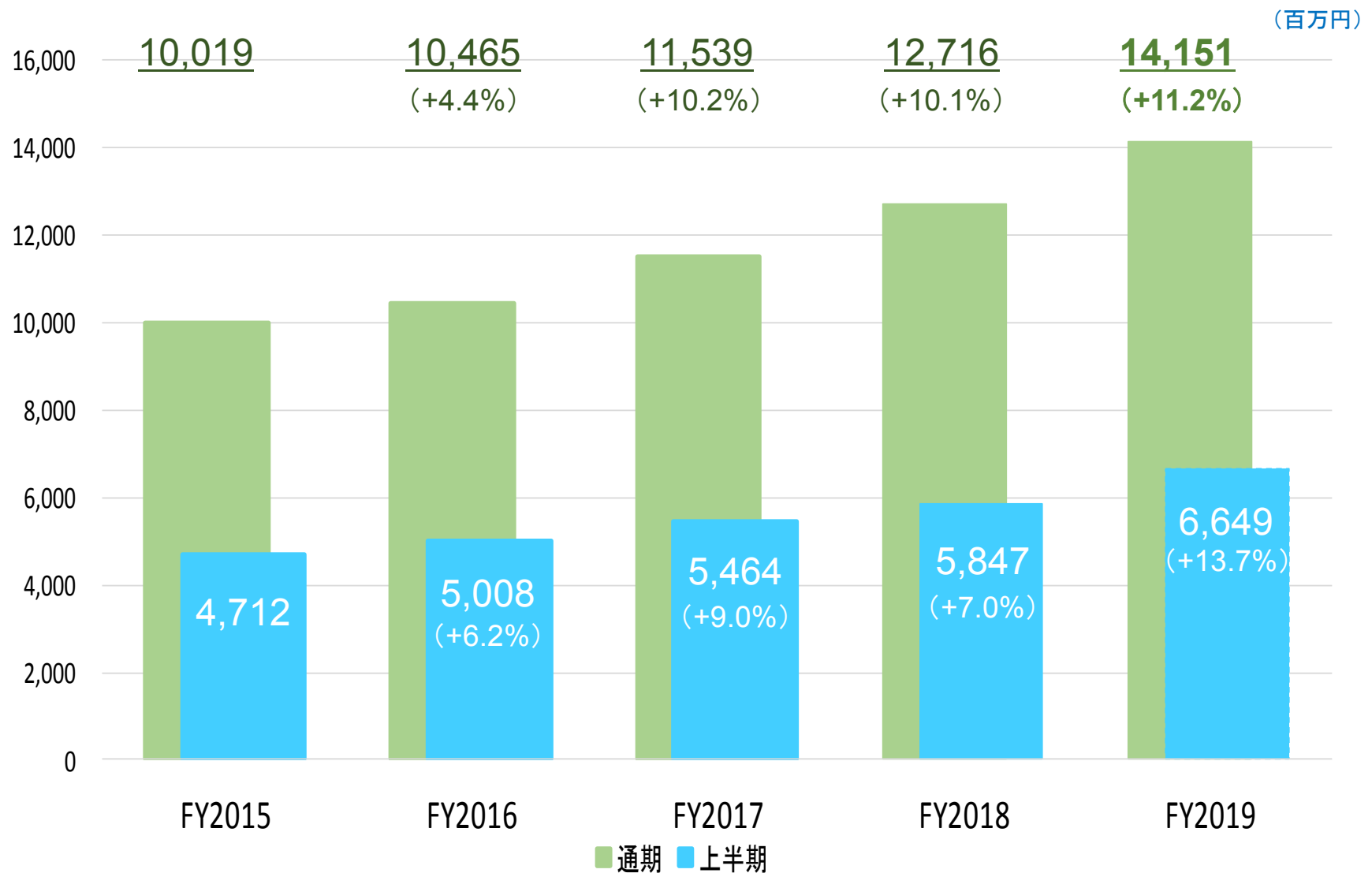
・ご参考資料

2019年3月期 実績サマリー(連結)

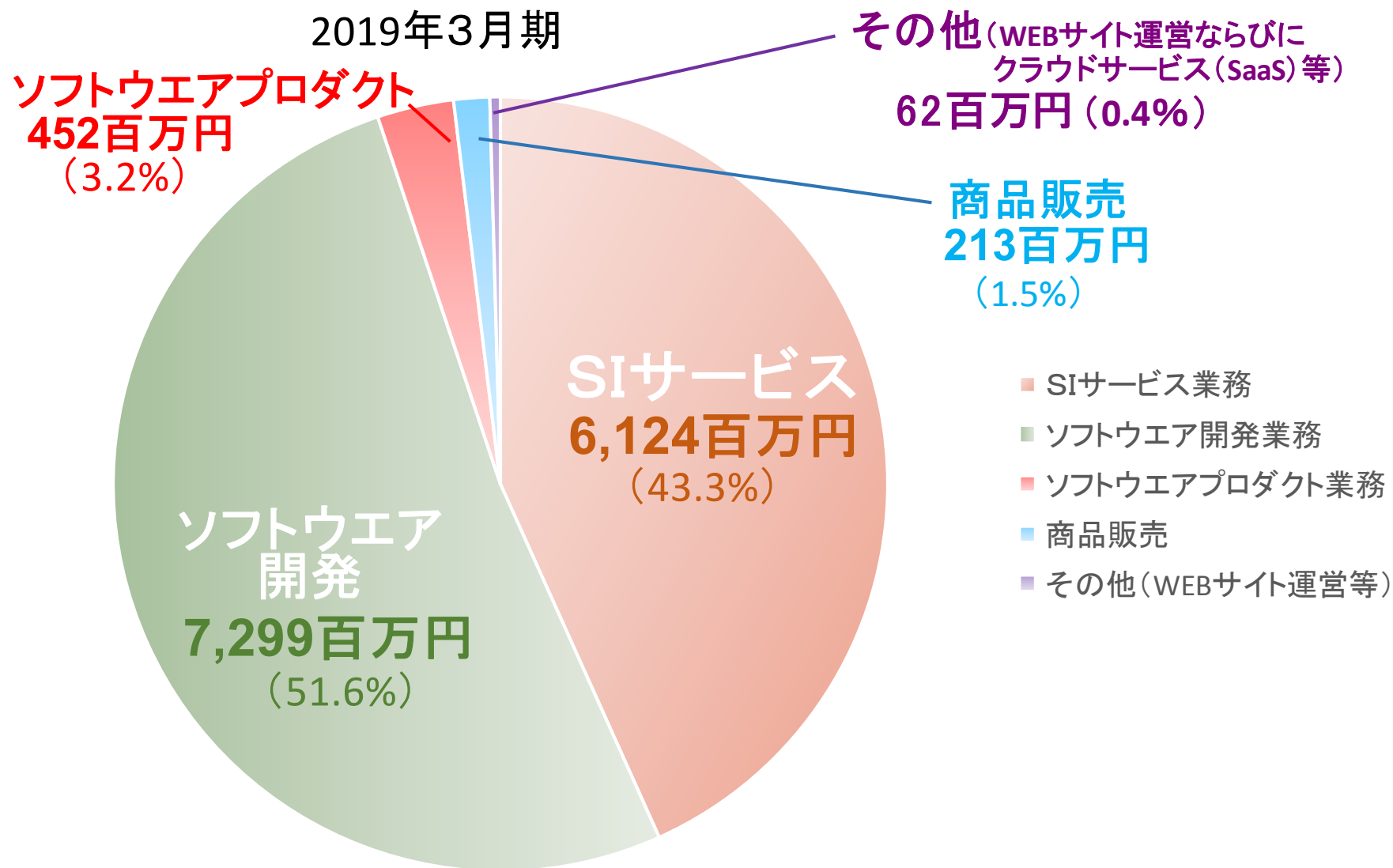
(単位:百万円)

	売上高比 (%) 2018年3月期 通期 (2017/4~2018/3)	売上高比 (%) 2019年3月期 通期 (2018/4~2019/3)	前年同期比
売上高	12,716	14,151	+11.2%
売上原価	79.9% 10,166	78.2% 11,072	+8.9%
売上総利益	20.0% 2,549	21.7% 3,079	+20.7%
販売管理費	12.3% 1,565	12.6% 1,787	+14.1%
営業利益	7.7% 983	9.1% 1,291	+31.2%
経常利益	7.7% 988	9.1% 1,300	+31.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5.2% 666	6.5% 920	+38.0%

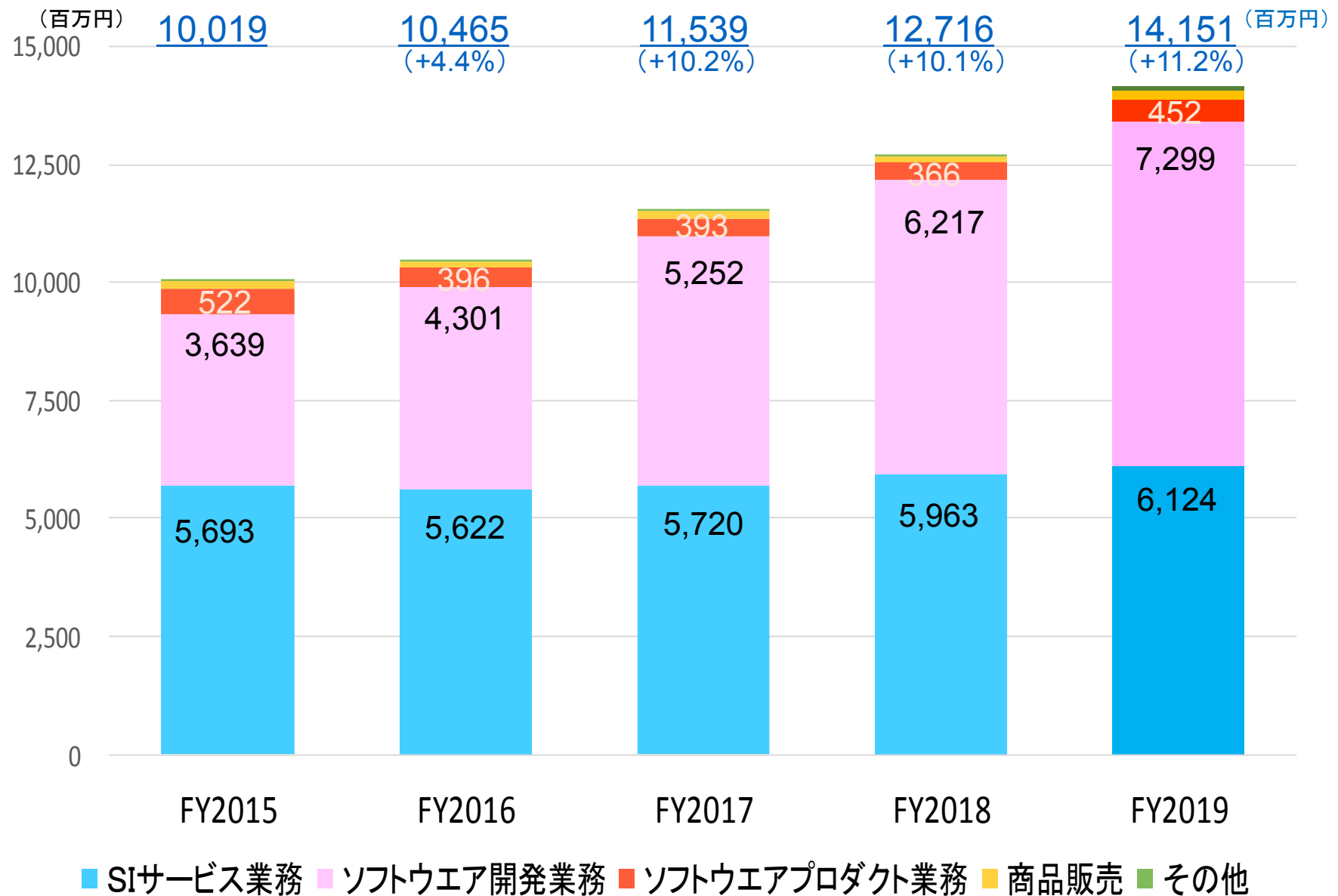
売上高(上半期・通期)の推移(連結)



業務区分別売上高の状況(連結)

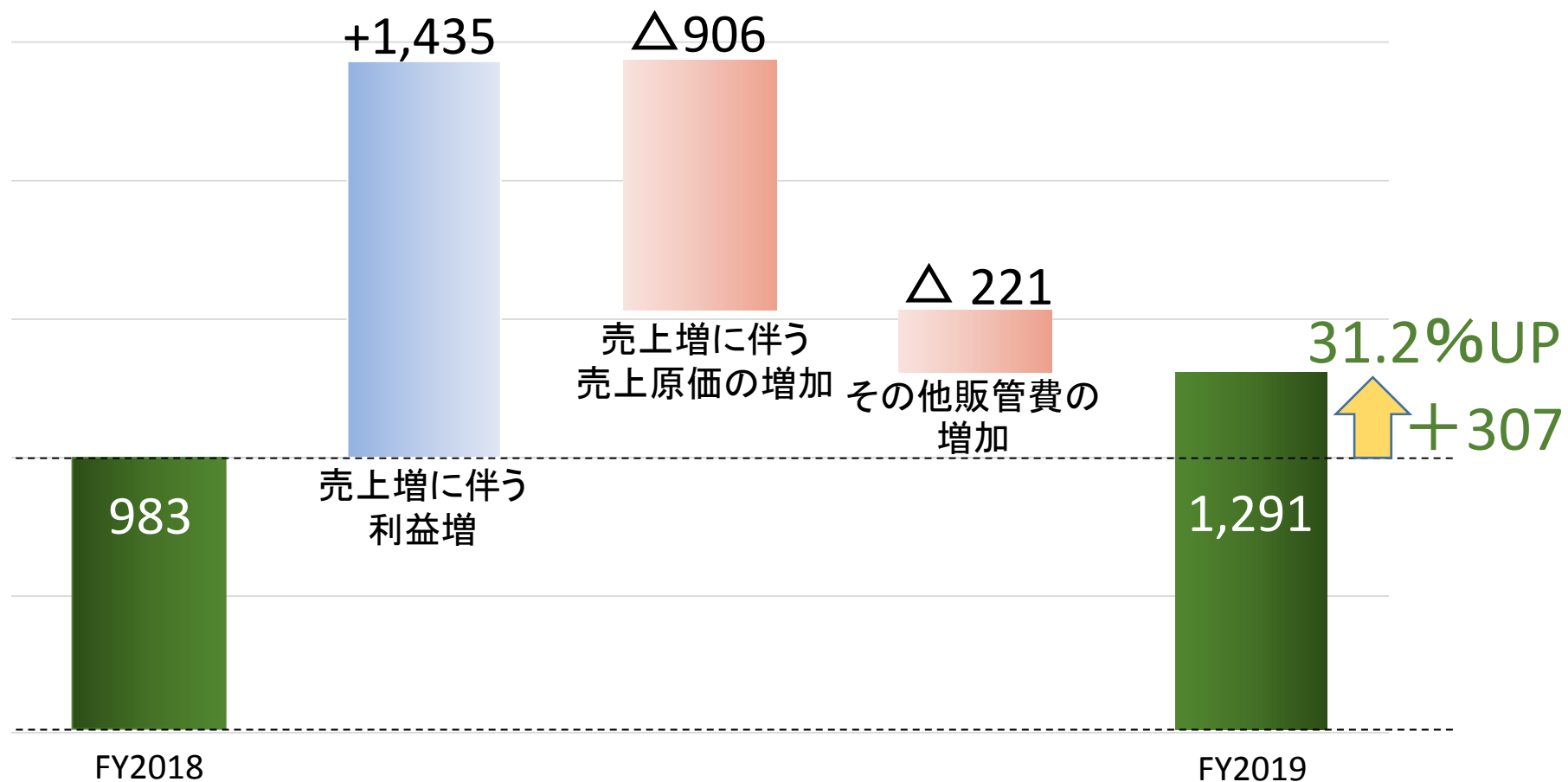


売上高(業務区分別積上げ)の推移(連結)

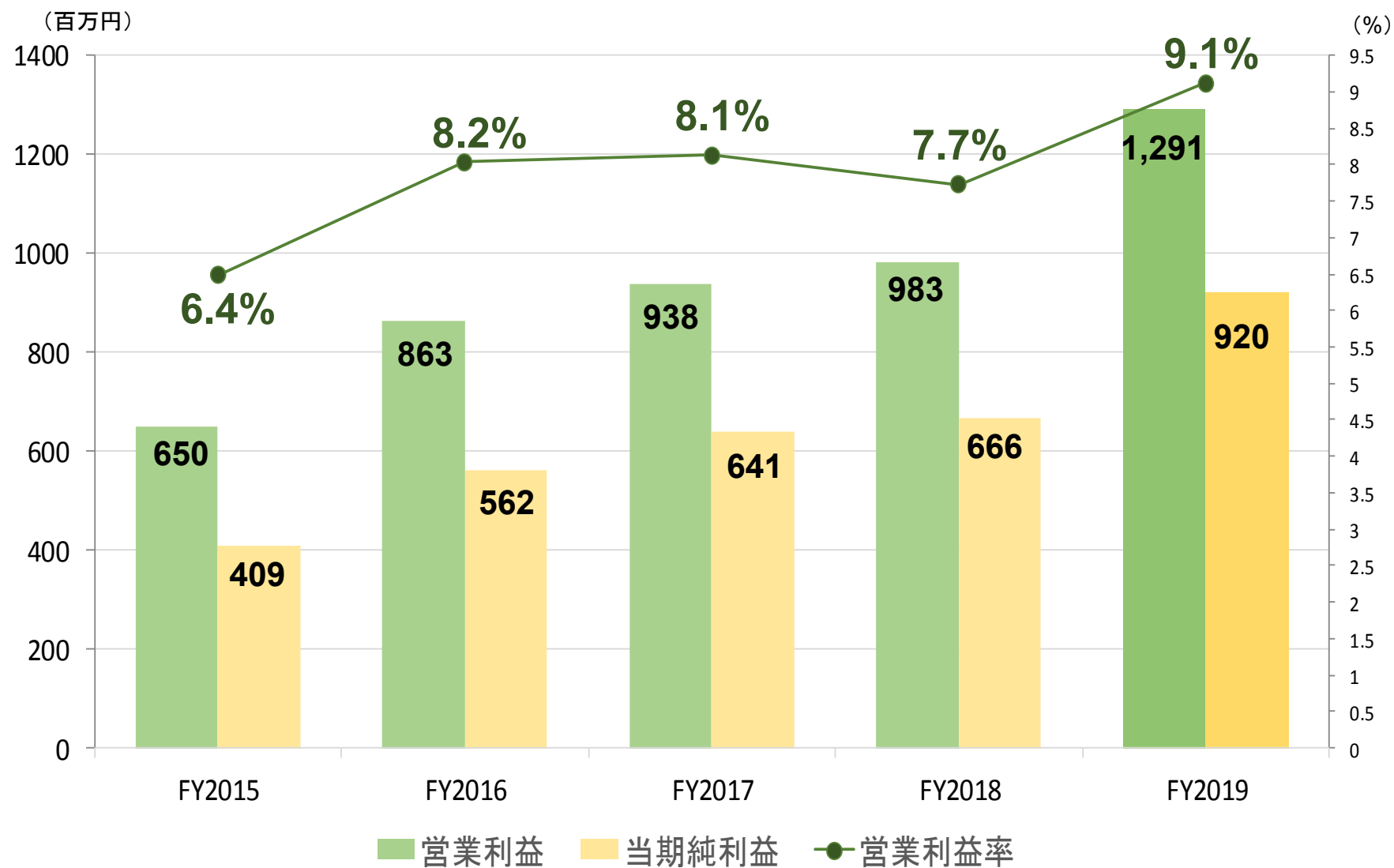


営業利益の分析(連結)

(百万円)



営業利益・当期純利益の推移(連結)



営業実績

(単位:百万円)

【売上高上位10社】

販売先	2018年3月期		2019年3月期		増減	
	販売金額	構成比	販売金額	構成比	金額	伸率
(株)トヨタシステムズ	2,081	16.3%	2,390	16.8%	309	+14.8%
(株)豊通シスコム	787	6.1%	911	6.4%	123	+15.7%
(株)日立製作所	577	4.5%	618	4.3%	40	+7.0%
(株)富士通	717	5.6%	581	4.1%	△135	△18.9%
SCSK(株)	370	2.9%	551	3.8%	180	+48.7%
織機メーカー系列子会社	416	3.2%	439	3.1%	22	+5.3%
外資系コンピュータメーカー	198	1.5%	348	2.4%	149	+75.3%
運輸業 情報子会社	392	3.0%	325	2.3%	△67	△17.0%
電機メーカー系情報子会社	262	2.0%	299	2.1%	36	+13.9%
食品小売業	132	1.0%	292	2.0%	159	+120.6%
その他	6,777	53.7%	7,393	52.2%	615	+9.0%
合計	12,716	100%	14,151	100%	1,435	+11.2%

注) 連結での構成比です。

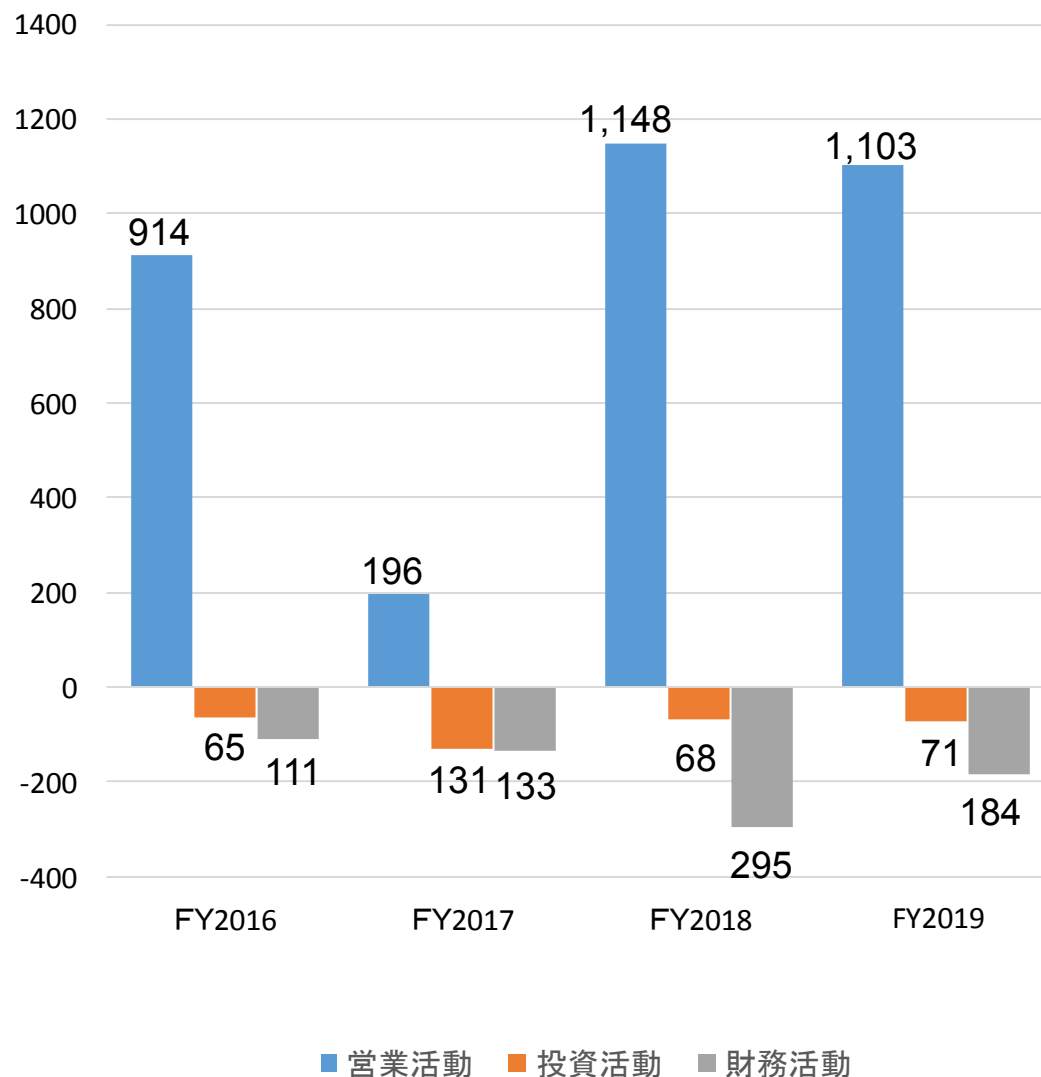
トヨタシステムズには旧トヨタケーラムの売上高を含みます。

連結バランスシート(サマリー)

	2018年3月末	2019年3月末	前期末比増減	(百万円)
現金及び預金	3,573	4,422	+848	
売上債権	2,868	2,981	+113	
たな卸資産	71	93	+21	
その他の流動資産	41	87	+46	
有形固定資産	1,094	1,054	△39	
無形固定資産	171	163	△7	
投資その他の資産	693	743	+50	
資産合計	8,514	9,547	+1,032	
仕入債務	586	659	+73	
短期有利子負債	847	842	△5	
未払法人税等	257	253	△4	
その他の流動負債	1,490	1,718	+228	
長期有利子負債	665	695	+30	
負債合計	3,847	4,169	+321	
純資産	4,667	5,377	+710	
負債純資産合計	8,514	9,547	+1,032	

連結キャッシュ・フロー

(百万円)



■ 2019年3月期 主内訳

営業キャッシュフロー

	主内訳	前年同期比
当期純利益	1,254	+267
減価償却費	120	+3
賞与引当金	114	+39
棚卸資産	△21	△61
売上債権	△97	+51
仕入債務	28	△93
法人税等支払額	△426	△125

投資キャッシュフロー

	主内訳	前年同期比
有形固定資産の取得	△4	△3
無形固定資産の取得	△69	△3

財務キャッシュフロー

	主内訳	前年同期比
長・短期		
借入れによる収入	+1,890	+80
長・短期借入金		
返済による支出	△1,865	+52
配当金の支払	△208	△20

目次

・会社概要

・2019年3月期 通期業績

・2020年3月期 業績見通し

・基本方針と働き方改革の取り組み

・中期経営計画

・ご参考資料

2020年3月期業績見通し(連結)

【当期実績と2020年3月期見通し】

【通期】	2019年3月期 実績	2020年3月期 見通し	前期比増減	
			増減額	増減率
売上高	14,151	14,979	+827	+5.4%
営業利益	1,291	1,408	+116	+9.0%
経常利益	1,300	1,412	+111	+8.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	920	946	+25	+2.7%
1株当たり当期純利益	220.22円	226.37円	—	—

【当期上半期実績と2020年3月期上半期見通し】

【上半期】	2019年3月期 上半期 実績	2020年3月期 上半期 見通し	前期比増減	
			増減額	増減率
売上高	6,649	7,090	+440	+6.6%
営業利益	421	476	+55	+13.2%
経常利益	420	473	+52	+12.5%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	284	317	+33	+11.6%

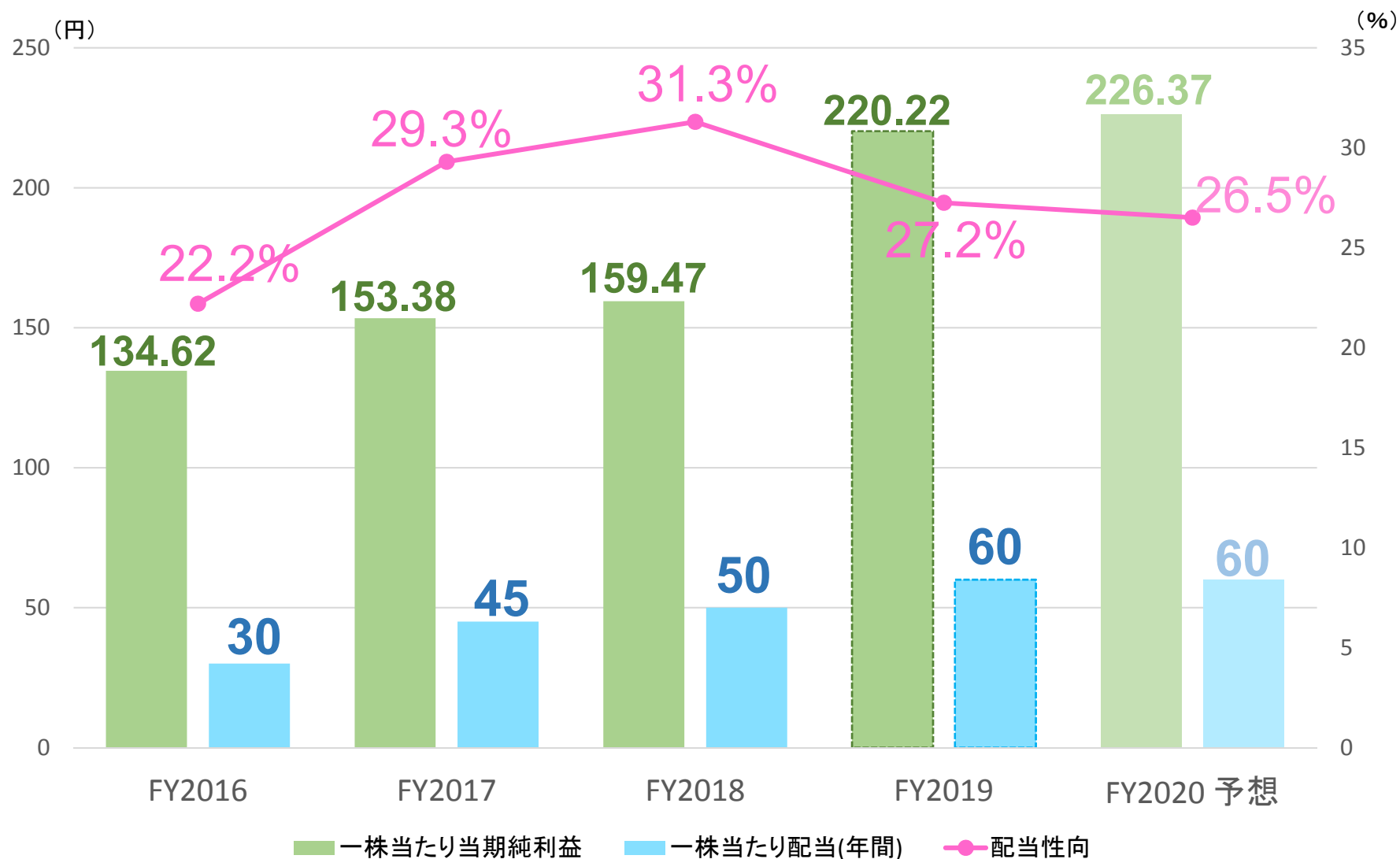
株主還元

- 株主への配当につきましては、当社の株式を長期的かつ安定的に保有していただくため、安定配当を維持していくことを念頭におき、当期の収益状況や今後の見通し、配当性向などを総合的に勘案して決定すべきものと考えております。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
EPS(1株当たり当期純利益)	153.38円	159.47円	220.22円	226.37円
ROE(株主資本利益率)	16.56%	15.14%	18.33%	16.35%
1株当たり配当金	45.0円	50.0円	60.0円	60.0円
配当性向	29.34%	31.35%	27.25%	26.51%

※ 2019年3月期の配当金につきましては、当初(2018年5月発表)予想の年間1株当たり50円から60円に配当予想の修正をしております。

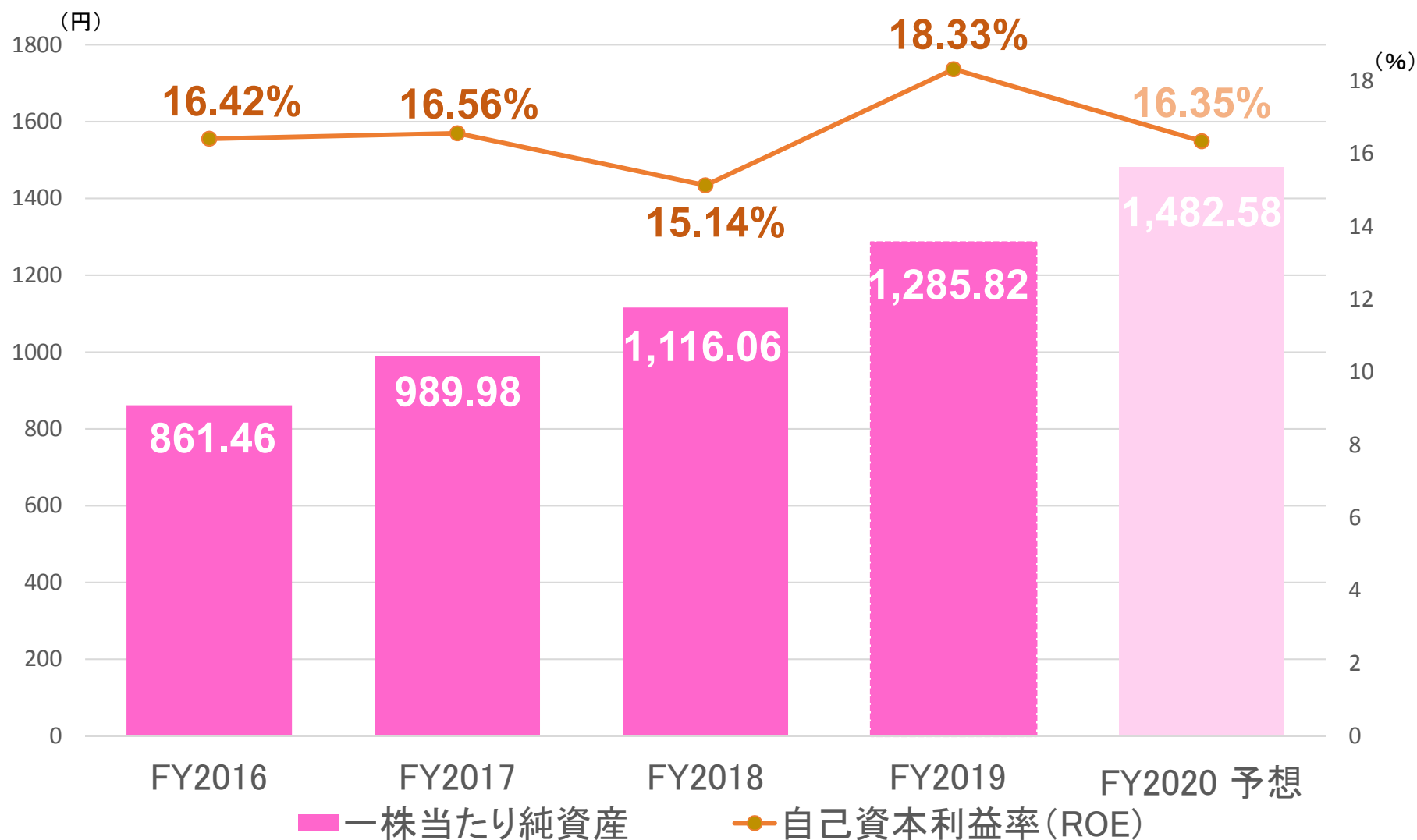
一株当たり当期純利益・配当（年間）の推移



(注) 当社は、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。

上表は、2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し一株当たり当期純利益および配当の額を調整しております。

一株当たり純資産・自己資本利益率の推移



(注) 当社は、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。

上表は、2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し一株当たり純資産の額を調整しております。

目次

・会社概要

・2019年3月期 通期業績

・2020年3月期 業績見通し

・**基本方針と働き方改革の取り組み**

・中期経営計画

・ご参考資料

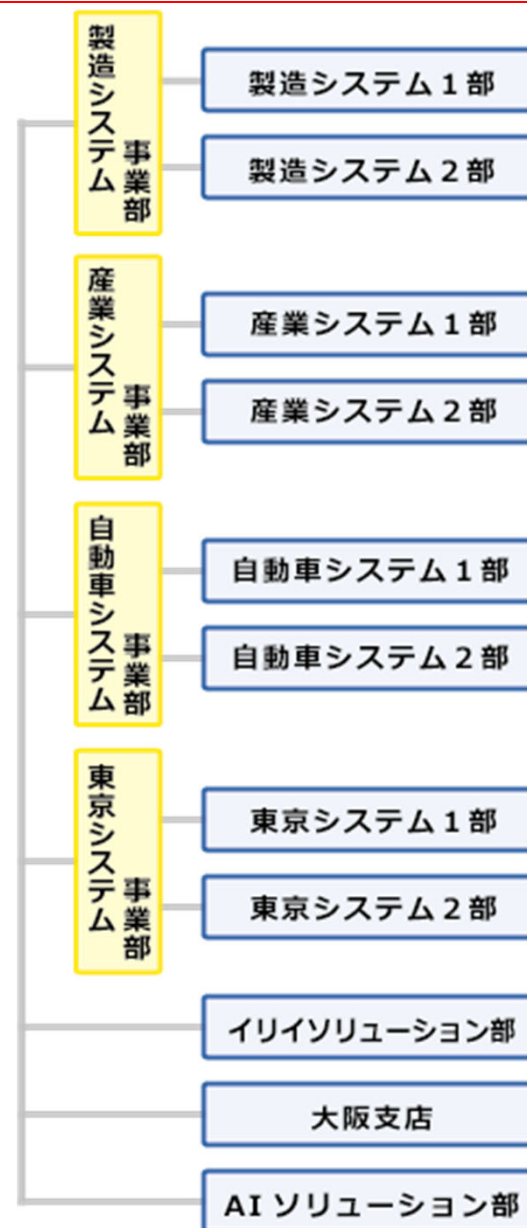
事業部制を採用(39期実施の組織変更)

➤ 2000人体制を見据え、
事業部体制に移行

➤ 業種・業界別の展開

➤ 関東地区、関西地区を拡大
(名古屋も拡大を止めることはない)

➤ AIソリューション部設立
(ITコンサルタント事業の足がかり)



40期基本方針(2020年3月期)

- ① 不採算プロジェクトを発生させない
- ② 人材の獲得と育成
- ③ AIビジネスの基盤確立
- ④ 契約条件の見直しと改善
- ⑤ 優良顧客の獲得を重点的に実行
- ⑥ SIサービス事業のさらなる拡大
- ⑦ ストックビジネスの拡大

AIソリューション部の取り組み

◆コールセンター業務支援

- ・コールセンター業務支援
- ・お客様社内の問い合わせ対応向けにサービス提供



◆チャットボット

- ・問い合わせ対応の自動化
- ・顧客ニーズにあわせてSkypeやLINEインターフェースの対応予定
- ・スマートスピーカーを使った音声入力にも対応予定



◆画像認識 (ティープラーニング)

- ・真贋判定
- ・製造業向け不良品検出

◆音声認識 (ティープラーニング)

- ・会議議事録の自動作成



AIソリューション部の取り組み

チャットボット

前期から継続中の取り組み

AI導入エントリーパック



コールセンター業務支援やお客様社内の
問い合わせ対応向けにサービス提供

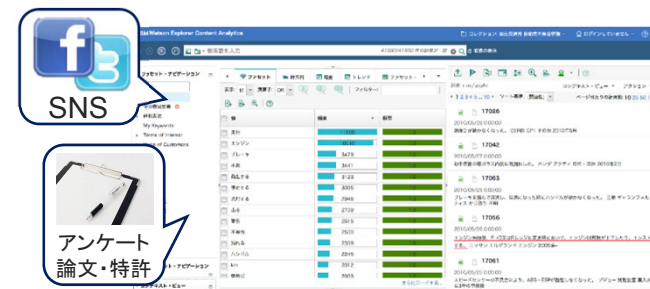
今期の新しい取り組み



顧客ニーズにあわせてSkypeやLINEインターフェイスの
対応を開始、複数企業にサービス提供
スマートスピーカーを使った音声入力にも対応

ビッグデータ活用

Watson Explorer



自動車業界や公益法人、建設業、製造業や
コールセンターなど幅広い業種にサービス提供

社内に散在して
いるノウハウ

Watson Explorer(検索)

社内データの検索にかけて
いる時間を大幅削減!

製造現場やオペレーターなど、
分析に携わっていない人でも
使いやすいインターフェイスを開発

競合が少ないテキストマイニングツールを使った「検索」
「分析」画面を誰でも使えるインターフェイスにすることで
ユーザー層の拡大を図る(受注確定案件あり)

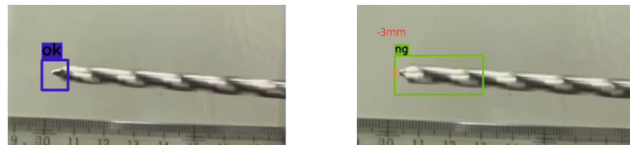
AIソリューション部の取り組み

画像認識(ディープラーニング)

Minsky / Power AI



◆ 携帯電話の傷の発見



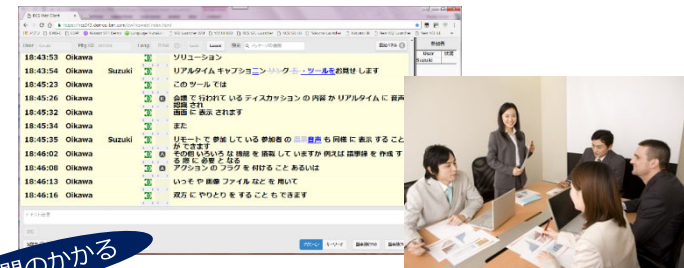
◆ 工作機械の破損検出(実案件提案中)

既存クラウドサービスでは対応しきれなかった
製造業向け不良品検出などのニーズに対応

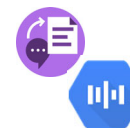
今期の新しい取り組み

音声認識

AI Minutes / マルチクラウド



- ◆ 会議やインタビューの議事録を自動で作成
- ◆ 同時翻訳により、海外の得意先との商談をサポート
- ◆ 聴覚障碍の方が参加するミーティングもスムーズに



更に、独立系Sierの強みを生かして
IBM Watson以外にもGoogle, Siriなどが
扱える技術者も育成
マルチクラウドベンダーを目指します

2018年6月に行われた製造業の顧客展示会では
約8割の来場者に画像・音声のニーズあり



2018年11月に行われた「メッセナゴヤ2018」にて
中部圏の製造業の顧客を中心に広くアプローチ

働き方改革の時流にしっかりマッチしたソリューションビジネスを展開

働き方改革

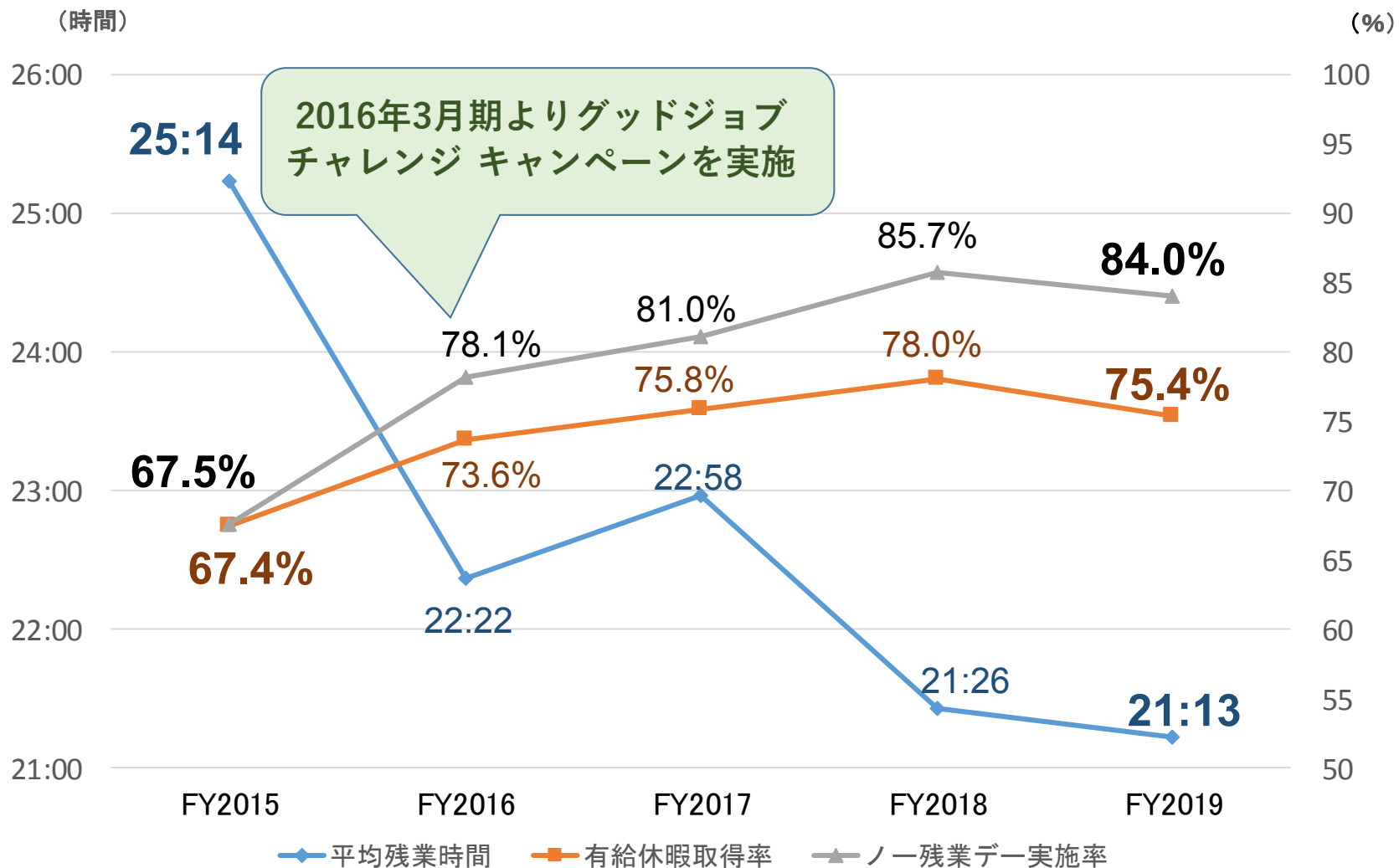
「GOOD JOB CHALLENGE 2019」 キャンペーン実施中

期間2019年4月1日～2020年3月31日

- ①ノー残業デーの実施強化
- ②事前承認残業の徹底
- ③有給休暇の取得率の向上
- ④不採算プロジェクトの撲滅



グッドジョブチャレンジの成果



女性活躍・両立支援を推進、仕事と生活の調和

◆ 厚生労働省

● 女性の活躍推進(Positive Action)

宣言します！・女性の活躍推進・多様な働き方の推進
・長期的なキャリア形成を支援する風土改革・意識醸成



● 両立支援のひろば

社員が仕事と介護を両立させることができ、社員全員が働きやすい環境を作る

◆ 内閣府

● 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言

「行動宣言」⇒ <http://www.sr-net.co.jp/pdf/News20180926.pdf>

● カエル！ ジャパン(「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の推進)

キャッチフレーズ:『ひとつ「働き方」を変えてみよう!』



行動宣言

輝く女性の活躍を加速する
男性リーダーの会

◆ 愛知県

● 愛知県ファミリー・フレンドリー企業

社員が仕事と生活の調和を図ることができるよう積極的に取り組んでいます

● 「女性の活躍企業」のあいち女性輝きカンパニー

「女性の活躍促進宣言」⇒ <http://www.sr-net.co.jp/csr/diversity.html>



ひとつ「働き方」を変えてみよう!



カエル！ ジャパン
Change! JPN

◆ 名古屋市

● 女性の活躍推進企業認定・表彰制度

女性がいきいきと活躍できるよう取り組んでいます



あいち女性輝き
カンパニー

◆ 新宿区

● 新宿区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定

「子育て支援」「働きやすい職場づくり」を推進します



新宿区ワーク・ライフ・バランス推進企業

◆ 大阪市

● 女性活躍リーディングカンパニー認証

女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組んでいます



働き方改革の推進

◆有給休暇の時間単位取得

- ・1日単位、午前午後単位の取得を1時間単位で取得可能とする
- ・2018年10月より実施

◆消滅有給休暇の積み立て制度

- ・権利発生後2年を経過して時効消滅する
年次有給休暇のうち、一定限度の日数を積立保存
- ・業務外の私傷病により休業する場合や、
家族の育児・介護・看護のために休業する
必要がある場合に使用できる制度
- ・2018年4月より実施



目次

・会社概要

・2019年3月期 通期業績

・2020年3月期 業績見通し

・基本方針と働き方改革の取り組み

・中期経営計画

・ご参考資料

中期(3カ年)経営計画(連結)

(単位:百万円)

項目	2020年3月期(計画)	2021年3月期(予想)	2022年3月期(予想)
売上高	14,979	16,521	18,324
営業利益	1,408	1,650	1,830
経常利益	1,412	1,652	1,832
当期利益	946	1,107	1,227

業務区分	2020年3月期(計画)	2021年3月期(予想)	2022年3月期(予想)
SIサービス	6,978	7,939	9,011
ソフトウェア開発	7,310	7,447	8,041
ソフトウェアプロダクト	350	378	394
商品販売	264	591	634
その他	76	164	241
合計	14,979	16,521	18,324

目次

・会社概要

・2019年3月期 通期業績

・2020年3月期 業績見通し

・基本方針と働き方改革の取り組み

・中期経営計画

・ご参考資料

Appendix(1) 連結損益計算書

2019年3月期

(単位:百万円)

科 目	単体		連結	
	金額	百分比	金額	百分比
売 上 高	14,144	100.0%	14,151	100.0%
売 上 原 価	11,045	78.0%	11,072	78.2%
売 上 総 利 益	3,099	21.9%	3,079	21.7%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,811	12.8%	1,787	12.6%
営 業 利 益	1,288	9.1%	1,291	9.1%
経 常 利 益	1,295	9.1%	1,300	9.1%
当 期 純 利 益	916	6.4%	920	6.5%

Appendix(2) 連結貸借対照表

2019年3月期

(単位:百万円)

科目	金額 (単体)	金額 (連結)	科目	金額 (単体)	金額 (連結)
現金及び預金	4,398	4,422	仕入債務	659	659
売上債権	2,980	2,981	短期有利子負債	842	842
たな卸資産	92	93	未払法人税等	252	253
その他の流動資産	87	87	その他の流動負債	1,715	1,718
有形固定資産	1,054	1,054	長期有利子負債	695	695
無形固定資産	169	163			
投資その他の資産	740	743	純資産	5,358	5,377
資産合計	9,523	9,547	負債純資産合計	9,523	9,547

Appendix(3) 業務区分別売上構成・前期比(連結)

(単位:百万円)

区 分	2018年3月期		2019年3月期		増 減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減比
S I サービス	5,963	46.9%	6,124	43.2%	+160	+2.6%
ソフトウェア開発	6,217	48.9%	7,299	51.5%	+1,081	+17.4%
ソフトウェアプロダクト	366	2.9%	452	3.1%	+85	+23.3%
商 品 販 売	130	1.0%	213	1.5%	+83	+63.9%
そ の 他 (W E B サ イ ト 運 営 等)	38	0.3%	62	0.4%	+24	+62.4%
合 計	12,716	100%	14,151	100%	+1,435	+11.2%

Appendix(4) 業務区分別受注状況

【実績：SIサービス業務】

(単位：百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	5,972	5,955	△17	△0.2%
受注残高	1,664	1,495	△168	△10.1%

【実績：ソフトウェア開発業務】

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	5,958	7,867	1,909	+32.0%
受注残高	623	1,191	568	+91.2%

注) 当社グループの主要業務区分の受注高、受注残高を連結で表示しております。

Appendix (5) イリイソリューション部

☆ イリイソリューション部の主なパッケージ

<p>クラウド型CRMシステム</p>  <p>ウォームプラス Warm+</p> <p>ロケーションフリーに、顧客情報をリアルタイム共有でき、小規模な接触センターへフレキシブルにフィットします。</p>		
<p>中～大規模向け通販システム</p>  <p>Simplex</p> <p>顧客管理機能で見込顧客をデータベース化。アウトバウンド機能で効率のよい新規顧客獲得へのアプローチが可能です。</p>	<p>アプリ+web連携CTI</p>  <p>CTIコネクト</p> <p>現在ご使用中の販売管理システムや顧客管理システムにシームレスに連携するCTIオプションです。</p>	<p>顧客情報管理システム</p>  <p>BIG 顧客管理NEO</p> <p>1台～数十台のコールセンターでご利用頂いているイリイのベストセラー。導入ノウハウを生かしたカスタマイズもご提案します。</p>

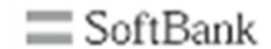
Appendix (6) CRMソリューション



ロードマップ ①

クラウドPBX／オンプレPBXハイブリッド対応のアドバンテージにて、ワン&オンリーのCTI／CRMソリューションの地位を確固たるものとします。

クラウドPBX



CTIコネクテル

クラウド

(ポップアップ／ACD／ステイタス管理／IVR／録音／履歴／アウトバウンド)

オンプレPBX



NTT西日本

OKI

HITACHI
Inspire the Next



IWATSU

NAKAYO

Appendix (7) CRMソリューション



ロードマップ ②

API連携にて、先進かつ多様なクラウドソリューション群と戦略的に提携します。



クラウド
ストレージ



BI



メール

メルワイズ

SNS



AI



PCA

PCA JINJIKANRI DX

ERP

PCA 公益法人会計 DX



PCA

商魂

PCA SHOKON DX

帳票



予約

POS



Appendix (8) 沿革

- 1981年 3月 会社設立
- 1987年 2月 大阪支店を開設
- 1989年 2月 東京支店を開設
- 1990年 8月 ソフトウェア開発業務拡大に伴い、開発センター(現情報センター)開設
- 1992年 5月 SIサービス事業強化のため、NBセンター(現技術センター)開設
- 2001年 3月 経済産業省よりSI企業として認定を受ける
- 2002年 3月 ISO9001の認証を取得
- 2004年 1月 ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証取得(現ISO27001)
- 2004年 4月 厚生労働省から一般労働者派遣事業の認可取得
- 2005年 6月 JASDAQ証券取引所(現東京証券取引所)に上場
- 2006年10月 松下電器産業(株)(現 パナソニック(株))よりイリイ(株)の株式を取得し、子会社化
- 2011年11月 本社移転(新社屋/名古屋市中村区内)
- 2012年12月 障害者の安定的な職場の確保を図るため、障害者を主体とするソフトウェア開発会社「株式会社ソエル」を設立(特例子会社)
- 2014年10月 連結子会社であるイリイ(株)を吸収合併(イリイソリューション部)
- 2015年 1月 東京支店およびイリイソリューション部を東京都新宿区西新宿に移転
- 2016年 3月 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016年 4月 大阪支店およびイリイソリューション部(大阪)を大阪市西区靱本町に移転
- 2016年12月 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定



※ 本資料についてのご注意

- 本資料は、当社グループの業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている当社グループの将来予測に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。
- 文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ お問い合わせ先

株式会社 システムリサーチ（広報室）

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通二丁目12番

TEL: 052-413-6820 URL: <http://www.sr-net.co.jp/ir> E-Mail: ircontact@sr-net.co.jp

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.